

小規模多機能居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	エフビー介護サービス(株)	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	「ケアライフ春日」は、住宅型有料老人ホーム・訪問介護・小規模多機能型居宅介護事業所・通所介護・居宅介護支援事業所を同敷地内に併設した、上越市初の複合型施設です。‘自分らしさ’を大切に、住み慣れた町での暮らしを支えます。				
事業所名	小規模多機能あつたかほ一む春日	管理者	藤田 梨恵						
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	合計
		1	1	1	1	1		1	6

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の目標、職員各々の目標を明確にし、目標達成に向け職員一人一人が必達出来る様意識を高く持ち取り組む。前回未達だった目標はなぜできなかったのか等も自身で検討し、一つでも多くの目標が達成できる様努力する。また、担当利用者様は利用終了まできちんと責任を持ち、エキスパートとなるべく努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な内部研修に対しては集合研修が出来ないことが多くあり、書面開催で行っている ・リモートでの外部研修も機会があれば参加している。地域ケア会議等開催可能なものには参加している。 ・地域ケア会議の開催可能者には参加している。 ・コロナ禍の中でも人数の制限や3つを避ける工夫を行い、会議や研修等を行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限がある中今までのようにはいかないが出来るだけ可能な範囲で地域との関わりを持ちお互いに交流や情報交換を知りたいと良い。 ・事業所もほぼ外部の方が入れない状況なので町内会の回覧版での事業所紹介を重ね少しでも活動を知っていただけるようにした。 ・コロナの家族内感染で利用者様が濃厚接触になったがほ一むの職員で対応しくれ各力感を無事過ぎてよかった。 	<p>事業所も目標、職員各自の目標を明確にし、今は何が出来て何が出来ていないのかを常に考え行動出来るようにする。ご利用者様やご家族にとって貴重な時間をあつたかほ一む春日で過ごしていただくことの感謝を忘れずに多職種が協力しより良いサービスが提供できるようにする。</p>
B.事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な内部研修の実施により、知識や技術の向上を図り、より居心地よく使って頂ける様努力する。また、外部研修に関しても積極的に参加させて頂き、多角的な視点での見方が出来る様自己研鑽に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に入ってから不快感はない。職員さんは笑顔で出迎えてくれる。 ・毎月工夫工夫された提案やレクリエーションが行われている様子が通信やブログで分かる。 ・事業所の中までは入れないが相談に来ると別室で話を聞いてもらうことで入りやすい感じになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染のため事業所に入りはできないので玄関先での対応が多く分からないことが多い。 ・防犯に関～夜間は鍵をかけているが日中は施錠していない ・玄関先に来ると楽しそうな声が聞こえるのでよい雰囲気の中で過ごせているんだと感じる。 	<p>感染に状況に合わせながらどう楽しんでいただけるか、情報収集を行いご利用者様の希望も取り入れながら計画する。地域との関りも持てるように連携を取り参加可能な事については積極的に参加していく。</p>
C.事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で滞りなく生活が送れる様に、職員間での情報共有を確実に同じサービスを提供できる様努める。また、利用者様には出来る事を見つけ、たくさんチャレンジして頂き新しい可能性を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大したこともありクリーン作戦は行えなかった。 ・外での行事の参加は天候に左右されるので出来なかった。 ・送迎等や訪問時家族とのコミュニケーションも取れ様子が分かる。 ・職員はいつも元気に挨拶してくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話での対応もよいので安心して話が出来ます。こまめに連絡をくれるので助かっています。いつも何かしらの企画があり楽しまれている様子が通信やブログ等で分かりました。 	<p>エフビー通信の継続を行い、地域の方に知っていただく努力を継続する。参加できる行事等には感染対策を行いながら参加、交流し地域との関係性が切れないうように出向いていく。</p>
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での会議等へは現場の職員も積極的に参加させて頂き、地域の資源などの把握、またインフォーマルサービスなどの知識を増やす様努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の開催は書面も多かったが人数は制限したが集合でも行えた。 ・事業所で行うイベント等も感染対策を行う事で実施できている。 ・合同の秋祭りも3施設内で利用者様を入れ替えたりと工夫し提供でき皆さんも楽しめました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中でこんな事例があると紹介されると色々な方がいるんだと思う。 ・それぞれの地域での町内のかかわり方は違いがゴミ出し等サービスの相談の快く答えていただけた。 	<p>ご利用者様のサービス提案する際は広い視野を持ち多角的に提供するため、日々地域の発信に関心を持ち研修等に参加、色々な情報を得ることが出来るようにする。</p>
E.運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な運営推進会議の開催により、事業所の透明化や問題点の解決、また地域での問題点を解決する場となるべく、密な関係性を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな事例のお宅がありこのようなサービスを提供している話を聞いたので良かった。 ・敬老会で町内からお花をいただき皆様とても喜んでた。 ・地域で困る事例はあるが包括や、町内、各班との連携もとりながら以前のように地域ケア会議を開催、参加できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今買ひも書面開催が多かったので分からないこともあるが資料を見る中で事業所の活動は分かる。 ・コロナ感染が出た際は大変だったことやどの様に対策されたかも伺えて良かった。 	<p>感染対策を行いながら会議の開催を実施し、意見交換、情報共有、有事の際の対策等、役割分担が出来るような関係性を目指す努力する。</p>
F.事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・有事が発生した際に迅速に対応できる様、定期的な避難訓練の実施。また今年度も福祉避難所の避難訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に避難所として使えるのはありがたい。 ・防災訓練については計画していると思うが見たことがない。 ・地域の防災訓練には参加できなかった。・感染対策もあり施設内の防災訓練も職員だけで行うときもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害はいつ発生するか分からないが危機感が薄い気がする。 ・昔とは違い、色々な災害がある、豪雪や水、風災害も目立つので色々な災害時の対応策が問われるが市からの返答も遅い時もあり各自でやるしかないこともある。協力体制が必要。 	<p>いつどのような災害が起こるかを想定したマニュアル作り、見直し等を行う。災害訓練の定期的に行う事でいざという時に迷わない行動がとれるようにしたい。</p>